

宮城県教育委員会（所在地：仙台市青葉区本町三丁目8-1）

事業名

学びを通じたみやぎの共生社会推進事業

事業の趣旨・目的

- ・ 障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指す。
- ・ 学校を卒業しても学び続けることができる持続可能で循環できる仕組みを形成する。

事業実施体制・連携先

コンソーシアムの構成員
大学教授、特別支援学校長、特別支援学校PTA等連絡協議会長、県社会福祉協議会、県障害者スポーツ協会、NPO、障害当事者支援団体、県公民館連絡協議会、再委託市町村・団体、企業、行政（県障害福祉課、県教育庁特別支援課、県立自然の家）

事業内容

- 「学びを通じたみやぎの共生社会推進事業」連携コンソーシアムの開催（年4回）
関係機関のネットワークづくり、目的目標の明確化
- 実践研究
 - ① 県立自然の家（3ヶ所）による出前や宿泊等のプログラムの実施
 - ② 市町村や社会福祉協議会、社会福祉法人でのプログラムの実施
 - ③ 県立支援学校との連携プログラムの実施
- 普及啓発
 - ① 社会教育関係職員・公民館等職員を対象とした研修会の実施
 - ② 一般県民を対象とした県民大学の実施
 - ③ 「ともに学び、生きる共生社会コンファレンス」の開催
- 先進地視察
各自治体及び団体への視察

今年度の取組状況

- 「学びを通じたみやぎの共生社会推進事業」連携コンソーシアムの開催（年4回）
関係機関とのネットワークづくり、事業の概要と今年度の取組、課題の抽出、目標・目的の明確化、方向性の意思統一
- 実践研究
 - ① 市町村や社会福祉協議会、社会福祉法人でのプログラムの実施
→ 2市2団体でのプログラムの実施地域の実情に応じたプログラムの実施
 - ② 県立支援学校高等学園との連携
→ 高等学園の生徒が考えた地域と連携する防災プログラムの連携
 - ③ 県立自然の家（3ヶ所）でのそれぞれのプログラムの実施
→ 障害者団体の宿泊体験、親子での体験学習、出前講座の実施
- 普及啓発
 - ① 社会教育行政や社会教育施設の職員の学びの場の提供と資質向上
 - ②③ 共生社会の実現のため「各自の強みを生かす」「自分ごととして考え行動する」意識の向上を目指した学びの場を提供する



コンソーシアムの様子



研修会の様子



コンファレンスの様子

その他研究の詳細など

生涯学習情報サイト
まなびの WEB 宮城
MANABINO MIYAGI



研修会の様子
などを紹介